

教科	科目	単位数
理科	科学と人間生活	2
【指導目標】 ・自然と人間生活との関わり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。 ・科学技術の発展が、今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解させる。 ・身近な自然の事物・現象および日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、科学と人間生活との関わりについて認識を深めさせる。 ・自然と人間生活との関わり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて、これからの科学と人間生活との関わり方について考察させる。		
【知識・技能】 科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。また、身近な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につける。		
【思考力・判断力・表現力】 身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。		
【主体的に学習に取り組む態度】 身近な事物・現象に関心や探究心を持ち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につける。		
スクーリング	6時間(前期3時間,後期3時間)	4時間以上要出席(メディアによる減免4時間)
レポート	年間6枚(前期3枚,後期3枚提出)	全て提出
試験	2回実施する(前期末,後期末)	評定2以上で単位認定
ビデオ教材	第一学習社及び本校で作成	メディア視聴による減免を実施
評価	試験80%,レポート20%で評価する	
教科書	高等学校 科学と人間生活(第一学習社)	
学習書	なし	
副教材	なし	

回	単元	教科書のページ	ビデオNo	レポート番号	スクーリング
1	序章 科学技術の発展 第I章 物質の科学 第1節 材料とその利用 *メディア視聴 *視聴確認テスト	前見返し~11 16~41	1~10	第一回 5/15	【A組】 ①5/26 ②7/29 ③7/31 【B組】 ①5/26 ②7/29 ③7/31 前期試験
2	第I章 物質の科学 第2節 衣料と食品 *メディア視聴 *視聴確認テスト	42~65	11~20	第二回 6/12	
3	第II章 生命の科学 第1節 ヒトの生命現象 *メディア視聴 *視聴確認テスト	66~89	20~29	第三回 7/10	

4	第Ⅱ章 生命の科学 第2節 微生物とその利用 *メディア視聴 *視聴確認テスト	90~109	30~38	第四回 10/2	【A組】 ④10/27 ⑤12/16 ⑥12/18 【B組】 ④10/27 ⑤12/16 ⑥12/18 後期試験
5	第Ⅲ章 熱や光の科学 第1節 熱の性質とその利用 第2節 光の性質とその利用 *メディア視聴 *視聴確認テスト	110~145	39~52	第五回 10/30	
6	第Ⅳ章 地球や宇宙の科学 第1節 自然景観と自然災害 第2節 太陽と地球 第Ⅴ章 これからの科学と人間生活 *メディア視聴 *視聴確認テスト	146~199	53~68	第六回 11/27	

教科	科目	単位数
理科	物理基礎	2
【指導目標】 物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
【知識・技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。		
【思考力・判断力・表現力】 自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。		
【主体的に学習に取り組む態度】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。		
スクーリング	4時間(前期2時間,後期2時間)	4時間以上要出席(メディアによる減免4時間)
レポート	年間6枚(前期3枚,後期3枚提出)	全て提出
試験	2回実施する(前期末,後期末)	評定2以上で単位認定
ビデオ教材	第一学習社及び本校で作成	メディア視聴による減免を実施
評価	試験80%,レポート20%で評価する	
教科書	高等学校 新物理基礎(第一学習社)	
学習書	なし	
副教材	なし	

回	単元	教科書のページ	ビデオ No	レポート番号	スクーリング
1	第1章 運動とエネルギー 第1節 物体の運動 *メディア視聴 *視聴確認テスト	6~39	35~45	第一回 5/15	①5/18 ②7/30 前期試験
2	第2節 力と運動の法則 *メディア視聴 *視聴確認テスト	40~75	46~56	第二回 6/12	
3	第3節 仕事と力学的エネルギー *メディア視聴 *視聴確認テスト	76~93	57~63	第三回 7/10	
4	第II章 熱 *メディア視聴 *視聴確認テスト	96~111	64~69	第四回 10/2	③10/29 ④12/16 後期試験
5	第III章 波動 *メディア視聴 *視聴確認テスト	114~147	70~79	第五回 10/30	
6	第IV章 電気 終章 物理学が拓く世界 *メディア視聴 *視聴確認テスト	148~179	80~91	第六回 11/27	

教科	科目	単位数
理科	物理	4
【指導目標】 中学校理科及び「物理基礎」との関連を図りながら、物理的な事物・現象を更に深く取り扱い、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
【知識・技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。		
【思考力・判断力・表現力】 自然の事物・現象の中に問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。		
【主体的に学習に取り組む態度】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。		
スクーリング	8時間(前期4時間,後期4時間)	7時間以上要出席(メディアによる減免9時間)
レポート	年間12枚(前期6枚,後期6枚提出)	全て提出
試験	2回実施する(前期末,後期末)	評定2以上で単位認定
ビデオ教材	第一学習社及び本校で作成	メディア視聴による減免を実施
評価	試験80%,レポート20%で評価する	
教科書	高等学校 物理(第一学習社)	
学習書	なし	
副教材	なし	

回	単元	教科書のページ	ビデオ No	レポート番号	スクーリング
1	第Ⅰ章 運動とエネルギー 第1節 平面運動と放物運動 *メディア視聴 *視聴確認テスト	8~27	1~2	第一回 5/15	①5/20 ②5/26 ③8/3 ④8/7 前期試験
2	第2節 剛体のつりあい *メディア視聴 *視聴確認テスト	32~45	3~4	第二回 5/29	
3	第3節 運動量の保存 *メディア視聴 *視聴確認テスト	46~67	5~7	第三回 6/12	
4	第4節 円運動と単振動 *メディア視聴 *視聴確認テスト	68~109	8~11	第四回 6/26	
5	第5節 気体の性質と分子の運動 *メディア視聴 *視聴確認テスト	110~139	12~14	第五回 7/10	
6	第Ⅱ章 波動 第1節 波の性質 第2節 音波 *メディア視聴 *視聴確認テスト	144~177	15~18	第六回 7/24	

7	第3節 光波 *メディア視聴 *視聴確認テスト	178~213	19~21	第七回 10/2	⑤10/23 ⑥10/27 ⑦1/18 ⑧1/22 後期試験
8	第三章 電気と磁気 第1節 電場と電位 *メディア視聴 *視聴確認テスト	218~259	22~25	第八回 10/16	
9	第2節 電流 *メディア視聴 *視聴確認テスト	260~287	26~28	第九回 10/30	
10	第3節 電流と磁場 *メディア視聴 *視聴確認テスト	288~309	29~32	第十回 11/13	
11	第4節 電磁誘導と交流 *メディア視聴 *視聴確認テスト	310~353	33~36	第十一回 11/27	
12	第四章 原子 第1節 電子と光 第2節 原子と原子核 *メディア視聴 *視聴確認テスト	358~417	37~44	第十二回 12/11	

教科	科目	単位数
理科	化学基礎	2
【指導目標】 物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を化学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。 ・日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
【知識・技能】 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。		
【思考力・判断力・表現力】 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。		
【主体的に学習に取り組む態度】 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
スクーリング	4時間(前期2時間,後期2時間)	4時間以上要出席(メディアによる減免4時間)
レポート	年間6枚(前期3枚,後期3枚提出)	全て提出
試験	2回実施する(前期末,後期末)	評定2以上で単位認定
ビデオ教材	第一学習社及び本校で作成	メディア視聴による減免を実施
評価	試験80%,レポート20%で評価する	
教科書	高等学校 新化学基礎(第一学習社)	
学習書	なし	
副教材	なし	

回	単元	教科書のページ	ビデオ No	レポート番号	スクーリング
1	序章 化学と人間生活 第1章 物質の構成 第1節 物質とその構成要素 *メディア視聴 *視聴確認テスト	4~45	1~7	第一回 5/15	①5/20 ②8/3 前期試験
2	第1章 物質の構成 第2節 化学結合 *メディア視聴 *視聴確認テスト	46~77	8~12	第二回 6/12	
3	(特集 数値の取り扱い) 第2章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式 *メディア視聴 *視聴確認テスト	(78~79) 80~97	13~15	第三回 7/10	
4	第2章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式 *メディア視聴 *視聴確認テスト	98~113	16~18	第四回 10/2	③10/23 ④1/22 後期試験
5	第2章 物質の変化 第2節 酸・塩基とその反応 *メディア視聴 *視聴確認テスト	116~141	19~23	第五回 10/30	
6	第2章 物質の変化 第3節 酸化還元反応 終章 化学が拓く世界 *メディア視聴 *視聴確認テスト	142~167 168~175	24~33	第六回 11/27	

教科	科目	単位数
理科	化学	4
【指導目標】 化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
【知識・技能】 化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。		
【思考力・判断力・表現力】 化学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。		
【主体的に学習に取り組む態度】 化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
スクーリング	8時間(前期4時間,後期4時間)	7時間以上要出席(メディアによる減免9時間)
レポート	年間12枚(前期6枚,後期6枚提出)	全て提出
試験	2回実施する(前期末,後期末)	評定2以上で単位認定
ビデオ教材	第一学習社及び本校で作成	メディア視聴による減免を実施
評価	試験80%,レポート20%で評価する	
教科書	高等学校 化学(第一学習社)	
学習書	なし	
副教材	なし	

回	単元	教科書のページ	ビデオ No	レポート番号	スクーリング
1	第I章 物質の状態 第1節 物質の状態変化 第2節 気体の性質 *メディア視聴、視聴確認テスト	6~37	1~6	第一回 5/15	①5/20 ②5/28 ③8/3 ④8/6 前期試験
2	第I章 物質の状態 第3節 固体の構造 第4節 溶液の性質 *メディア視聴、視聴確認テスト	38~83	7~15	第二回 5/29	
3	第II章 物質の変化と平衡 第1節 化学反応と熱・光 *メディア視聴、視聴確認テスト	86~109	16~20	第三回 6/12	
4	第II章 物質の変化と平衡 第2節 電池・電気分解 *メディア視聴、視聴確認テスト	110~129	21~23	第四回 6/26	
5	第II章 物質の変化と平衡 第3節 化学反応の速さ 第4節 化学平衡 *メディア視聴、視聴確認テスト	130~165	24~30	第五回 7/10	
6	第II章 物質の変化と平衡 第5節 電離平衡 *メディア視聴、視聴確認テスト	166~191	31~35	第六回 7/24	

7	第III章 無機物質 第1節 周期表と元素の性質 第2節 非金属元素 *メディア視聴、視聴確認テスト	194~219	36~44	第七回 10/2	⑤10/23 ⑥10/29 ⑦12/17 ⑧1/22 後期試験
8	第III章 無機物質 第3節 典型金属元素 第4節 遷移元素 *メディア視聴、視聴確認テスト	220~259	45~54	第八回 10/16	
9	第IV章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴 第2節 脂肪族炭化水素 *メディア視聴、視聴確認テスト	262~289	55~58	第九回 10/30	
10	第IV章 有機化合物 第3節 酸素を含む脂肪族化合物 第4節 芳香族化合物 *メディア視聴、視聴確認テスト	290~343	59~66	第十回 11/13	
11	第V章 高分子化合物 第1節 高分子化合物 第2節 天然高分子化合物 *メディア視聴、視聴確認テスト	346~383	67~72	第十一回 11/27	
12	第V章 高分子化合物 第3節 合成高分子化合物 終章 化学の築く未来 *メディア視聴、視聴確認テスト	384~416	73~82	第十二回 12/11	

教科 理科	科目 生物基礎	単位数 2
【指導目標】 ・生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。		
【知識・技能】 生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。		
【思考力・判断力・表現力】 問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法を習得するとともに、報告書などを作成したり、発表を行う。		
【主体的に学習に取り組む態度】 生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。		
スクーリング	6時間(前期3時間,後期3時間)	4時間以上要出席(メディアによる減免4時間)
レポート	年間6枚(前期3枚,後期3枚提出)	全て提出
試験	2回実施する(前期末,後期末)	評定2以上で単位認定
ビデオ教材	第一学習社及び本校で作成	メディア視聴による減免を実施
評価	試験80%,レポート20%で評価する	
教科書	高等学校 新生物基礎(第一学習社)	
学習書	なし	
副教材	なし	

回	単元	教科書の ページ	ビデオ No	レポート番号	スクーリング
1	第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性 第2節 生物とエネルギー *メディア視聴 *視聴確認テスト	18~45	38~44	第一回 5/15	【1年次】 ①5/18 ②7/27 ③7/31 【2-3年次】 ①5/18 ②7/27 ③8/7 前期試験
2	第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝情報とDNA 第2節 遺伝情報とタンパク質の合成 *メディア視聴 *視聴確認テスト	48~73	45~52	第二回 6/12	
3	第3章 ヒトのからだの調節 第1節 からだの調節と情報の伝達 *メディア視聴 *視聴確認テスト	76~95	53~60	第三回 7/10	

4	第3章 ヒトのからだの調節 第2節 免疫 *メディア視聴 *視聴確認テスト	96~113	61~66	第四回 10/2	【1年次】 ④10/19 ⑤12/14 ⑥12/18 【2-3年次】 ④10/20 ⑤12/16 ⑥12/18 後期試験
5	第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植生と遷移 *メディア視聴 *視聴確認テスト	116~141	67~73	第五回 10/30	
6	第4章 生物の多様性と生態系 第2節 生態系とその保全 *メディア視聴 *視聴確認テスト	144~171	74~81	第六回 11/27	

教科	科目	単位数
理科	生物	4
【指導目標】 生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。		
【知識・技能】 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。		
【思考力・判断力・表現力】 自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。		
【主体的に学習に取り組む態度】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身に付けている。		
スクーリング	8時間(前期4時間,後期4時間)	7時間以上要出席(メディアによる減免9時間)
レポート	年間12枚(前期6枚,後期6枚提出)	全て提出
試験	2回実施する(前期末,後期末)	評定2以上で単位認定
ビデオ教材	第一学習社及び本校で作成	メディア視聴による減免を実施
評価	試験80%,レポート20%で評価する	
教科書	高等学校 生物(第一学習社)	
学習書	なし	
副教材	なし	

回	単元	教科書のページ	ビデオ No	レポート番号	スクーリング
1	第1編 生物の進化と系統 第1章 生物の進化 第1節 生命の起源と細胞の進化 第2節 遺伝子の変化と遺伝子の組み合わせの変化 第3節 進化のしくみ *メディア視聴 *視聴確認テスト	16~57	1~7	第一回 5/15	
2	第1編 生物の進化と系統 第2章 生物の系統と進化 第1節 生物の系統 第2節 人類の系統と進化 *メディア視聴 *視聴確認テスト	60~85	8~11	第二回 5/29	
3	第2編 生命現象と物質 第3章 細胞と分子 第1節 生体物質と細胞 第2節 タンパク質の構造と性質 第3節 生命現象とタンパク質 *メディア視聴 *視聴確認テスト	92~121	12~16	第三回 6/12	①5/26 ②5/28 ③8/6 ④8/7
4	第2編 生命現象と物質 第4章 代謝 第1節 代謝とエネルギー 第2節 炭酸同化 第3節 異化 *メディア視聴 *視聴確認テスト	124~152	17~21	第四回 6/26	前期試験

5	第3編 遺伝情報の発現と発生 第5章 遺伝情報とその発現 第1節 DNAの複製 第2節 遺伝子の発現 第6章 遺伝子の発現調節と発生 第1節 遺伝子の発現調節 *メディア視聴 *視聴確認テスト	160~181	22~25	第五回 7/10	
6	第3編 遺伝情報の発現と発生 第6章 遺伝子の発現調節と発生 第2節 発生と遺伝子の発現 *メディア視聴 *視聴確認テスト	182~205	26~29	第六回 7/24	
7	第3編 遺伝情報の発現と発生 第7章 遺伝子を扱う技術とその応用 第1節 遺伝子を扱う技術 第2節 遺伝子を扱う技術の応用 *メディア視聴 *視聴確認テスト	208~229	30~34	第七回 10/2	
8	第4編 生物の環境応答 第8章 動物の反応と行動 第1節 刺激の受容と反応 *メディア視聴 *視聴確認テスト	236~267	35~39	第八回 10/16	
9	第4編 生物の環境応答 第8章 動物の反応と行動 第2節 動物の行動 *メディア視聴 *視聴確認テスト	268~281	40~44	第九回 10/30	
10	第4編 生物の環境応答 第9章 植物の成長と環境応答 第1節 植物と環境 第2節 植物の一生と植物ホルモン *メディア視聴 *視聴確認テスト	284~317	45~51	第十回 11/13	
11	第5編 生態と環境 第10章 生態系のしくみと人間の関わり 第1節 個体群と生物群集 *メディア視聴 *視聴確認テスト	324~351	52~56	第十一回 11/27	
12	第5編 生態と環境 第10章 生態系のしくみと人間の関わり 第2節 生態系の物質生産と消費 第3節 生態系と人間生活 *メディア視聴 *視聴確認テスト	352~377	57~61	第十二回 12/11	

⑤10/27
⑥10/29
⑦12/17
⑧1/18

後期試験

教科	科目	単位数
理科	地学基礎	2
【指導目標】 ・日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。		
【知識・技能】 科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。また、身近な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につける。		
【思考力・判断力・表現力】 身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。 そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。		
【主体的に学習に取り組む態度】 身近な事物・現象に関心や探究心を持ち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につける。		
スクーリング	4時間(前期2時間,後期2時間)	4時間以上要出席(メディアによる減免4時間)
レポート	年間6枚(前期3枚,後期3枚提出)	全て提出
試験	2回実施する(前期末,後期末)	評定2以上で単位認定
ビデオ教材	第一学習社及び本校で作成	メディア視聴による減免を実施
評価	試験80%,レポート20%で評価する	
教科書	高等学校 地学基礎(第一学習社)	
学習書	なし	
副教材	なし	

回	単元	教科書のページ	ビデオ No	レポート番号	スクーリング
1	第1章 地球のすがた *メディア視聴 *視聴確認テスト	6~33	1~9	第一回 5/15	①5/28 ②7/31 前期試験
2	第2章 地球の活動 *メディア視聴 *視聴確認テスト	36~69	10~18	第二回 6/12	
3	第3章 大気と海洋 *メディア視聴 *視聴確認テスト	72~105	19~30	第三回 7/10	
4	第4章 宇宙と地球 *メディア視聴 *視聴確認テスト	108~139	31~39	第四回 10/2	③10/19 ④12/18 後期試験
5	第5章 生物の変遷と地球環境 *メディア視聴 *視聴確認テスト	142~175	40~50	第五回 10/30	
6	第6章 地球の環境 *メディア視聴 *視聴確認テスト	178~207	51~59	第六回 11/27	